

★新年おめでとうございます

会員の皆様、いかがお正月を迎えられたことでしょうか。世の中、やゝ明るさが見え始めたと言われますが、まだ本格的な回復までには至らない様です。8ミリ界も同様、ビデオに押されっ放しでカメラ店の店先から8ミリ機材が姿を消して久しくなります。

しかし、8ミリの楽しさ、仲間同志の親睦の度合はビデオでは味わえない深さがあります。OMCを中心として、今年も楽しい会になりますよう、皆様のご協力の程お願いします。

★企画担当は上総、河口両氏のコンビで

10月で幹事が改選されたが、川畑会長小倉副会長のご兩名はOMCの看板であり牽引車でもあるので「改選外」で変わらず、会長の声にならないボソボソ声もかき消されてしまった。本年もよろしくお願いします。さて、会長ご指名による幹事役に若干変更あり、注目の企画担当は、前年度河口氏がよくやっていたが、今年は更に充実させるため上総氏を据え、河口氏とコンビで担当してもらうことになった。なお、アドバイス役に川畑会長が補佐される。その他、有村氏には関小連担当を受け持ってもらい、例会映写機担当は小倉、前田、岡本の各氏が、会計増田氏、広報合原氏変わらず。なお、対外的広報（雑誌などへのニュース提供他）は川畑会長が、司会は小倉副会長がそれぞれ受け持たれた。以上、幹事の皆さんよろしく願います。

★12月例会レポート

師走例会は集まりが心配されたが、いつもより出足がよく24名を数えて賑やかに開かれた。新入会希望者、井上和宣氏を拍手で迎えたが、ぜひ正式入会していただきたい。今月は6本の出品があったが、なかでも増田氏が久々にシネスコを持参されて話題を独占した。

☆上映作品『晩秋の土』三木義晴氏3分
家庭菜園の植物をたんねんに撮られた。

『湖東の春』有村博氏11分、76年キャノングランプリ作品。上映まもなくテープが切れたが、テープ派の多いOMCなら

ではのトラブル。内容は風物詩として抜群、『山里のうた』合原一夫氏14分、奥飛鳥の田園を舞台とした愛の追憶ドラマ『愁色』野村公威氏3分、フィルターを使って寺を素材の小品にまとめられた。『ルナ色の異星人』野村公威氏3分、昨年公開映写会作品のアニメ。言うことなしの完全脱帽。最後は増田栄一氏のシネスコ作品『浪速祭時記』スクリーンが標準サイズなので迫力が今ひとつだったがビデオでは出来ない迫力はさすが。今度はぜひ大画面で見たいものである。

☐新年会を第4土曜日25日に予定

例年通り、親睦を目的とした新年会を企画しています。ぜひご参加を。くわしくは例会にて。

☐1月例会は会場の都合で第3土曜18日

です。お間違えのないよう願います。新年例会を賑やかに迎えましょう。なお、リバイバル作品でも結構どうぞお持ちを。

★寒い冬こそ「絵」になる、という方…

こう毎日寒いと撮影に行くのもおっくうになりますが、こういう寒さだからこそ「絵」になる、とばかり出かけられる人は自他共に認められる”8ミリ好き”の横綱級かも知れませんね。がんばらなくちゃ、とは思うものの、なかなか…。

★シングル8フィルムは消えじ…

どこからともなく、シングル8のフィルムが製造中止になるらしい、というウワサが伝わってきましたが、どうやら根拠のないデマだったようです。川畑会長によると、旧タイプのダブル8のフィルムが製造中止（2年前富士では既に製造中止）になったのをシングル8フィルムとごっちゃに理解されて誤り伝えられたのではないか、という話です。

富士フィルムでも製造中止は無いということをお知らせしています。

社会的責任からも今後ともシングル8フィルムが製造中止になることはないと考えてよさそうです。しかし周辺機器や消耗品などすぐに入手することが次第にむずかしくなることを考え、常に予備をそろえておくことが必要かと思えます。

★新年会で深まる親睦の輪

去る1月25日土曜日の夜、昨年と同じ以和貴荘で恒例のOMC親睦会が催され20名近くの参加者を集めて賑やかなひとときを過ごしました。鍋料理あり、カラオケあり、8ミリ談議ありで楽しい懇親会でしたが、どうしても同じ8ミリでも8ミリビデオの方に話題が「脱線」しがちでした。これも時代の流れか…。

☆1月例会レポート

会場の入口が物々しいバリケードでガードされていてびっくり。全国教育研究集会在大阪府下で行なわれることで全国の右翼が集まり例によって騒いでいるからとか。おかげで会員の車が内へ入れず道路に停めたところ、今度は不法駐車騒ぎ。とんだとぼちりでした。

さて正月例会でお酒が出るという結構な雰囲気の中で例会開始。

◆上映作品 『初恋門前町』香島氏、天六クラブ撮影会の歌謡映画。ベッピンさんの出演でムードたっぷりの映画。続いて前田氏『五能線』青森県の最先端を行くSLの情感が素晴らしい。48年撮影。岡本氏『清姫まつり』珍しい地方の祭り風景。若者のジャズ演奏に酔う人、ポカンとしている土地のお年寄り、その対比が面白かった。奨励賞。『艶姿あて姿』野村氏、多彩な技術を駆使した歌謡アニメ。『雨』那須氏、東映映画村での撮影会作品。さすが本職の出演だけに、セリフも堂に入っていて本物の映画を観ているよう。『遺されたノート』合原氏、52年OMC秋の撮影会作品だが、ようやくこのほど完成させて陽の目をみた。『川野牛』有村氏、約15年前OMC公開映写会で発表されたリバイバルを懐かしく拝見。最後は小倉氏の『イスラム賛歌』異国情緒豊かな作品。かくし撮りの苦心談あり。

☐ 2月例会は22日（土）府教育会館。リバイバルでも結構、作品持参乞。

（合原）

★春本番…

今年も造幣局通り抜け桜の季節がやってきた。プロ野球も開幕されたが、昨年の優勝チーム、阪神はどういうわけか開幕三連敗、新聞の見出しでは「今年のくじらは食いにくい」とあった。前途多難なスタートである。8ミリ界も8ミリビデオに押されて前途多難ではあるが、OMCだけは頑張っていきたい。

★昨年度優秀作品決まる

「翼よ永遠に」有村氏OMC賞。「とんぼ仲間」上総氏会長賞。「重信さん」前田氏グランプリ。おめでとうございます。

★皆勤賞の6氏にトロフィ

川畑、小倉、増田、前田、河口、合原の各氏が例会皆勤でめでたく表彰された。

★作品リストに登録を

OMCは本年関小連の事務局を担当していて、事業の一環として各クラブの親睦交流用、個人作品リストを作成することになった。クラブ相互に作品を借りて例会で上映、作者もできるだけ出席して親交を深めようという企画である。以上のような目的で実施されるので、作品レベルは一切関係なく、タイトル付、編集済フィルムであればOK。公開の場が拡大されることになるので、ぜひ登録にご協力を願いたい。幹事役のOMC会員がまず範を垂れよう。

4月例会で登録票配布及び説明(有村)

★関小連「楽しい歌謡映画まつり」予定

6月中旬を目標に各クラブから1~2本の歌謡映画を出品してもらい、楽しい催しにしたいという企画が進行中。

☆3月例会レポート

3月例会ともなると、さすがに暖かい気配でコートを脱いだ人の姿が目立つ。例会場の隣のホールでは結婚披露宴たけなわであった。いよいよ婚礼の季節か。

今月は昨秋の立杭撮影会コンテストの月で5本が出品された。

いずれ劣らぬ力作であったが、何回も通って努力された今井さんの作品が入賞となった。これで秋の撮影会是一件落着、企画の河口さん、ご苦労さんでした。

「丹波立杭焼きの里」合原一夫氏、撮影会当日のみのフィルムしかなかったの、何と47年に撮影した立杭風景のフィルムをうまく活かし？ソツなくまとめられた。「立杭焼に生きる」那須典彦氏、3回も通ってきれいに撮られている。録音の調子がや、おかしかったが、レベル間違いか。「丹波立杭焼に生きる」今井羨美氏、数回通われて丹念に撮られており、入賞の栄を勝ちとられた。「立杭陶苑」香島淳二氏、編集上の助言がほしいとのことで上映されたが、いいカットが多数あり、短く再編集すればいい作品になろう。「丹波立杭焼に生きる」河口礼志氏、企画者なので参考作品として上映、今録音してきたばかりと録音機持参でかけつけられた。作品はさすがに立派。

その他の作品上映「柴又初恋門前町」野村公威氏の歌謡映画。観て楽しい作品だ。

※撮影会5月11日『絵馬描絵師』乞御期待。

※4月例会は26日(土)府教育会館。

※会費納入月、ご協力を。作品持参どうぞ。

OMC春の撮影会

大和の描き絵馬（仮題）ご案内

絵馬は、家族の幸せを祈る庶民の信仰のシンボルです。私達の生活には縁がないようですが、お正月の破魔矢や入試祈願など、種々の絵馬でほとんどの家庭に飾られています。

この絵馬は大半がプリントされたものですが、大和の中部地区一帯に広く肉筆の描き絵馬（小型、大型、立絵馬、美術絵馬など）を、各家庭から行事あるごとに寺や神社に奉納するならわしが根強く残っています。

今回の撮影会は、全国でも数少ない描き絵馬の絵師・松岡弥三郎さん（65歳）の取材の姿や日常の人間像と制作過程を撮影します。数百年前の絵馬から現代のものまで、所狭しと並んでいる寺やお宮さんの絵馬堂、そして万葉の歴史を伝える二上山の美しい夕日なども撮影のポイントです。

1日で終了の予定ですので、親睦をかねてぜひご参加下さい。

記

主な撮影地：奈良県大和高田市内の天神社、龍王宮および敷島町245-11の松岡さん宅（Tel. 0745-52-0433）

日時：5月11日（日）・8時30分出発

（雨天の場合は改めて日時を決める）

集合場所：あべの橋・近鉄百貨店東50ビル「観光旅館新宿」＜阿倍野1-1-61＞前

会費：2,500円の予定

使用フィルム：室内6本、オープン3本程度（余分に用意して下さい）

企画担当 川畑、上総、河口

★早や夏場所の季節

ついこの間、大相撲春場所をやっていたと思ったらもう夏場所。季節の移りかわりの早さを感じ入る。8ミリも撮り残しをそのうちに撮り足しに行こうと思っていると、まるで自然や人の服装が変わっていたりしてあわてるもの。皆さん、撮り足し撮影はせいぜい一週遅れ位で計画を立てましょう。

★17名の大勢の参加者をみた春の撮影会

昨秋の立杭撮影会は数名という淋しさだったが、今年の春の撮影会は17名の参加者があり、車5台を連ねての大撮影会となった。川畑会長の企画で「大和の描絵馬」という題材にも魅力があったのであろう。

5月11日はあいにくの曇り空だったが主に室内撮影のため撮影は順調に行われた。川畑会長が望んでいたようなカットが思うようにならなかった由だが、撮影会作品なのであまり大作をねらわず、これはこれでまとめて、7月例会でコンテストしようという当初の計画通りに行なうことになった。秋にお祭があるので更に肉づけされたい方は撮り足しされていい作品に仕上げしてほしいとは川畑会長の希望である。

★公開映写会用作品の方もよろしく

新人の方、特に歓迎します。OMCここにあり、の灯をともし続けましょう。

☆4月例会レポート

会費納入月ということで、めったにお顔を見せられない会員さんの姿があちこちに見られ、「やあーお久しぶり」の挨拶がかわされていたが、総じて出席者は今ひとつ。

今月は新作2本、リバイバル作品3本が集ったが、話題は何といても上総氏の「ヒトクイ人種」に集中、時間にゆとりがあったせいもあり、作者から裏話がいろいろと披露され皆興味深かげに聞き入っていた。

『明日の海』岡本至弘氏。SU・T3分、大阪港にくりひろげられた'83帆船パレードの画面を使って歌謡映画にまとめられた。

『青信号』野村公威氏。Sシ・M4分、横断歩道の人の動きをねらって歌謡映画にまとめられた。『ヒトクイ人種』上総修一郎氏。SU・T20分西イリアンのダニ族の生活状況を描いたものだが、すごい迫力。ガラスのビーズを手みやげに持って行ったおかげで、わが生涯最高にかしずかれてエラくなった気分を味わった、とはまた結構なご体験で…。『中之島考想』合原一夫氏。Sシ・M11分、今は無き裁判所や大阪市庁舎などがふんだんに出てくる。そういう意味では貴重な記録。『こっくり長者』川畑健二氏。Sシ・T19分、故高野家喜氏の名演技を久しぶりに観賞した。今更ながら惜しい人を失ったものよ、という感慨が湧く。内容は民話と万国博を組合せて喜劇風に仕立てたところがミソ。

☆中学生2人が参観

学校祭に8ミリ劇映画をつくりたいから、トリック撮影の勉強に来たと渚西中3年藤堂君、坂東君の2人が例会参加。2時間の超大作に取り組みたいと意欲十分。頑張ってネ。
※5月例会は24日(土)6時20分府教育会館
新作・旧作オール歓迎。会員諸氏千客万来大期待。作品登録票もぜひお持ちを。(合原)

★梅雨の晴間……

季節は正直なもので今年も早や梅雨の季節撮り足しに休日をと予定していてもま、ならないシーズンでもある。こういうときはタイトル撮影やら編集やらで予定を組んだ方が無難だが、雨こそ素晴らしい被写体とばかりカメラを持ち出すファイトある方も居られるかも…。いずれにしても、このところ例会作品が少し淋しいのでどしどし作品をお持ち願いたいものである。

★やはり、ハイレベルOMC歌謡映画

去る6月13日北市民教養ルームで行われた関小連主催歌謡映画まつりにOMCから川畑、有村、前田のベテラン3氏の作品が出品されたが、やはり他クラブ作品よりレベルが高かったようだ。3氏のほかにもOMC会員で他クラブより出品された作品も何本もあったがそれらも含めてやはり評価は高かった。世話役クラブとして責任がはたせたと思う。

☆5月例会レポート

陽が長くなったせいか6時半を過ぎても外は明るく、そのせいでもあろうか例会の出足しが今ひとつ。隣りの大部屋では楽器を持ちこんで賑やかな歌声しきり。こちらも頑張らなくちゃと思ひながらいささか湿り気味。それでも7時過ぎには20名を越える出席者と4本の作品が集ってようやく例会開始。どうか会員の皆さん、月に一度の例会出席と早目の御来場に御協力あれ。

上映作品「レガッタ」那須典彦氏SU5分琵琶湖でのレガッタ風景、軽快なタッチで青春を謳歌している様子が描かれる。

若い人達が楽しくやっているのを追いかけることで那須さんの若さが保たれているのに違いない。これからも大いに若がえって楽しい作品を作って下さい。

「立杭焼に生きる」今井羨美氏SU・T17分、再編集再出品作。現地へ5回ほど通われたというだけあってカットが多彩。原作者の河口氏によれば、釜で焼くところの迫力がもう少し出たらと残念そうだったが、いい作品になればなるほど一寸したところが気になるものではある。

「10円玉に秘められた町」合原一夫氏Sシ12分、身近かにある10円玉の裏に宇治平等院の絵が描かれているが、これに関心をもった主人公が宇治探訪へ出かけていった…。合原氏久々の新作発表。

「蝶々先生」有村博氏、SU・T18分5年ほど前公開映写会で発表された作品のリバイバル、キャノンコン入選作でもありさすが立派なものである。

ここで、川畑会長より撮影会作品のコンテストの件で説明があった。思ったように撮れず残念であるが、一応7月例会で公開審査を行う。BGMだけでも結構、もう少し撮り足しされて小品にまとめられても結構だが、とにかく、ひとまず出品してほしい。

★香島さんご病気という話。そう言えばこのところ姿が見えないと思っていた。再びお元気な姿を見せてほしい。祈ご全快。

★6月例会は28日(土)6時20分府教育会館 新作・旧作品歓迎。会員諸氏、万障繰り合わせの上ぜひご出席を。会費未納の方よろしく。

OMC News

発行 大阪ムービーサークル企画室 川畑健二

88.7 No. 250

大阪市南区谷町6-8-13 〒542
☎ (06)761-0034・352-0486

★梅雨空見上げて…

すごい雨が朝から降っていたと思ったら午後は薄日がさして天気の良い今日この頃である。衆参ダブル選挙日の日曜日には絵馬の掲げ足しに行こうと思っていたがあいにくの曇り空であきらめ、投票場へでも行こうかと足を向けた次第。西川きよしや自民党のにんまり顔に比べ、撮影会作品の締め切りに間に合わないとかきまきしている者が居ることは誰も関心を向けてくれない……？

★小倉副会長ダウン…折ご全快

小倉副会長が本年の中国旅行を目前にして心臓発作で入院されました。私達にとって大ショックです。OMCニュースのきれいなワープロもしばらく見られません。心配はいらないと思いますが、療養に専念され、一日も早く全快されることを心から祈ります。入院先は近畿中央病院451号室(阪急塚口駅下車バス10分)です。また前号でお伝えした香島さんは無事退院され、自宅療養中です。お二人とも一日も早く元気な姿を見せてください。

★公開映写会用作品ふっってご応募を

今年はOMC公開映写会の真価が問われる年のような気がする。新人の方も含めどしどし勇気を持って出品されることを期待したい。貴方にとって今年はチャンスかも……

★ビールで乾杯！250号記念

全国の数ある8ミリクラブで、毎月ニュースを発行しつづけて250号、21年も続いているというのは他に例がありません

OMCの息の長さや伝統を改めて感じます。26日の例会では、これを記念して缶ビールで乾杯したいと思います(会費不要)ごぞって出席して下さい。これを機に団結とご支援を期待しています

★6月例会レポート

朝から梅雨空でいまにも降り出しそうなき模様でせいか会員の出席が悪かったが、7時前になってようやく席も賑やかになり、それじゃ始めようかと小倉副会長の開会宣言。

まずトップバッターは江村一郎氏「春

や春」S17分、開幕らしく賑やかに早いテンポで軽快に春をうたい上っている。江村作品らしい編集タッチと選曲だ。

「おんな港、室津」前田茂夫氏SU T14分歌謡映画かと早とちりして見ていたら、何のナンノ、重厚な前田氏らしい紀行映画。聞けばスタジオ8撮影会の作品とか。歴史のなかで女にまつわる話が多いところから「おんな港…」となつたらしい。「空」有村博氏、SU、T14分。唯今制作中の20階以上のビルを対象とした映像のNGフィルムで作ったと持参された。大阪には20階以上が12、13階以上が13の超高層ビルがあると作者の調査報告でしばし超高層ビル談議が続いた「13年目の訪問」合原一夫氏SIM 10分、13年前に撮影された「13年目…」で通算26年前の映像。今はすっかり変わった炭坑風景に思いを馳せる。

「めぐりあい(仇討異聞)」那須典彦氏SU、M10分、映画村での撮影会作品。本物の迫力はさすがにすごい。

「おんな港、室津」今井羨美氏SU> T12分、前田氏と競作となった。今井氏らしい努力作。

コンテスト情報は、詳細は例会で!!

第7回

ヒロシマ国際アマチュア映画祭(1987) 作品公募に関する規定

1986 第14回 日本映像フェスティバル

主催 日本テレビ放送網・読売新聞社・日本映像記録センター・読売テレビ放送(財)日本テレビ放送網文化事業部
後援 文部省・全国高等学校映像教育研究協議会・全国高等学校映像教育研究会・日本映像カレッジセンター

開催主旨 国民の一人一人が「映像フェスティバル」は、今年みなさんの豊穡な生活を

部門と題材
○部門ともビデオ・フィルムを問いません。
○作品の期間は各部門とも第一回としての分限です。

応募資格と作品
○日本人または日本人に
○ビデオは8ミリ、16
○フィルムは8ミリ、16

東映大家映画村

撮れ。撮れ。
KYOTO

第2回
京都映像コンテスト
作品募集要項

日本8ミリ映画新人賞

第3回選出コンテスト

主催 ぐるーぷ・こん
共催 日本小型映画連盟

主旨 アマチュア8ミリ映画に新しい風を吹き、映写制作の盛んとなる機会ある人材を広く全国のアマチュア8ミリ映画の今を創る。

★7月例会は26日(土)府教育会館
絵馬撮影会作品締切は、参加者はとにかくご持参下さい。(秋に追加撮影計画)よろしく。

★残暑御見舞い申し上げます

梅雨が終ったと思ったらさすがに「夏」！うだる様な暑さだが、もうお盆の季節を迎えた。月日の立つのは早いものである。そう云えばつい先日OMCニュース 250号の原稿を書いたと思ったらもう 251号の原稿に取りかかる日となりネタ不足にややあわて気味でもある。どなたか話題を提供して下さい…。

★ビールで乾杯、7月例会

OMCニュース 250号発行記念ということで罐ビールの乾杯で例会が始った。出席者は予告してあった割には多くなかったが、作品本数が多く「秋の撮影会作品」の審査では大いに盛り上がった。

★それなりにまとめられた絵馬作品

「大和の描絵馬」富永ひさ子さんSU・T 7分。トップバッターで上映された富永作品。撮影会作品としては二作目だという。きれいな色に仕上がっており撮影も安定している。ムード音楽だけでスケッチ風にまとめられた。

「大和の描絵馬」森保信氏 SU無声 12分 編集途上の作品ということで無録音、未完成品。絵師の色付け場面のアップがなかなか良く撮れている。完成すれば良くなるう。

「大和の描絵馬」江村一郎氏Si・Mg 10分 秋の撮り足しを期待して今回は軽くスケッチ風にまとめられた。絵馬堂に入る主人公が手ぶらなのに中では画板を抱えているのは不自然。再編集の際見直しが望まれる。

「大和の描絵馬」前田茂夫氏SU・T 15分 何度も撮り足しに行かれ、豊富なカットを駆使して作品にまとめ上げられた力量はさすがである。ナレーションで観客にも判る作品

にされていて、もう秋の撮り足しはいらないのではとの声があがった。

「大和の描絵馬」今井羨美氏SU・T 12分 今井さんもこの種の作品づくりには熱心で何回も現地を訪れて撮り足しされる方であるが、今回も前田さんと連れ立っていいカットをモノにされている。こちらは女性ナレでそつなくまとめられた。

「絵馬に魅せられ…」合原一夫氏SU・T 13分 寝つかれない夜の睡魔祈願?のために読み出した絵馬の本が面白くなって、ついに大和高田市の現地へまで行って本物を見、描き絵師の仕事ぶりを見てくるという…。みいらとりがみいらになったというおハナシ。

さて公開審査の結果は、一風かわった発想でまとめられた合原氏の作品が第1位で、手堅く真正面から取りくまれた前田作品が第2位、今井作品が3位、拍手のうちに幕となったが、8時45分になってようやく河口氏がかけつけられ、とにかく上映にこぎつけた。

「大和の描絵馬」河口礼志氏SU・T 10分 上映直後ランプの断線ありあわてて取替えられたが色調も明るさも断然ひかった。秋の撮影と合わせて再編集されたら秀作となるう
★10月17日(金)の発表映写会作品、傑作ができそうですか?もう追い込みに入っていることでしょう。8月例会で申し込みを締切ります、映写会に際しては強力なご支援を!

★8月例会は23日(土)府教育会館。会員諸氏の万障繰り合わせての御来場お待ちします。新作旧作オール歓迎ぜひお持ちを。

★当日、秋・春の撮影会入賞作品のトロフィーを見贈呈します。

★本格的「秋」近し、8ミリ季節まじか

今年の残暑は厳しいと思っていたが、9月も半ばを過ぎるとさすがに朝夕めっきり冷え込むようになってきた。一年中で一番しのぎよい季節の到来であるが、また8ミリを楽しむシーズン。さてOMC秋の撮影会はどこに

★公開映写会動員に絶大な協力を!

来たる10月17日(金)朝日生命ホールでの公開映写会を成功させるためには、ひとえに皆さん方の力による動員数の如何にかかっています。よろしく御協力の程お願いします。

出品作品はこの低迷期をふっとばすような力作が10本。会長は唯今プログラムのコピーとレイアウトに頭を痛められている様子です。

☆8月例会レポート

夏の甲子園高校野球で優勝するなど夢物語にすぎなかった奈良県代表・天理高があれよあれよという間に優勝するものだから、夕方からどしゃぶりの大雨。それ以後天気もパツとせずOMCの例会も出席率が危ぶまれたが珍らしく椿さんが奥さん同行で見えられる等まずまずの出席数であった。

しかし、ハプニングは続くもので、映写機の電気がつかないと係の有村氏、あちこちいじっていたが、どうやらコードの接触が悪いことが判明。山形氏の手で急ぎ川畑会長が家までコードを取りに帰るとい一幕があった。

映写機が無くては例会は成り立たないが、そこは同じ趣味仲間、8ミリ談議に花を咲かせておとなしく待ちの姿勢。しかし同じ8ミリ談議でもどうしても8ミリビデオの話に脱線?するのはご時世というものであろう。

7時20分過ぎようやく上映開始。トップバッターは江村一郎氏「鬼の舞」Si・Mg 7分。和歌山県高野山のふもとにある小さな町の変った祭りを撮って来られた。よく近接して撮られておりそのカメラマン度胸に敬服する。

「METROPOLIS OSAKA '86」有村博氏Su・T 14分。公開映写会用に作られた新作。大阪で造られている20階以上のビルをたんねんにまとめられたが、いつの間にか大阪にも超高層ビルが増えたものだと感じ入る作品であった。BGMがマッチしていた。

「北国の幻想」河口礼志氏Su・T 11分。公開映写会用にまとめられた意欲作。ナレーションがまだ入っていない未完成作品ながら映像の美しさは抜群。河口氏らしい個性ある作品で、もう少し短かく編集されたらいい作品になること間違いなし。「ふるさと」合原一夫氏Si・Mg 6分25秒 フジ友の会49年度撮影会作品で作者の脚本によるもの。今は懐かしい藤本さんが芸達者ぶりを見せている。「海はエメラルド色」上総修一郎氏、エルモの水中カメラ用小道具を使った初の作品とか。タヒチから40分位い飛んだボラボラ島の海の青さが印象的。最後に川畑会長の「おくにさん」Su・T。1973年度よみうり映像コン文部大臣賞受賞の往年の名作。

★撮影会作品入賞者にトロフィ

立杭：今井、合原、那須の各氏。拍手!

絵馬：合原、前田、今井の各氏。拍手!

★9月例会は27日(第4土曜日)6時20分府教育会館4F視聴覚室。万障繰合せて定刻に出席を。作品も忘れずに!

★秋本番、8ミリの季節！

今年もいつの間にか天高くさわやかな秋の季節となった。各クラブの撮影会華やかなこの頃だが、同時に企画担当者の頭の痛い季節でもある。映写会もOMCを始め、各地で小さいながらも催されていることであろう。とにかく日頃の仕事のストレスから解放され、大いに楽しくやりましょう。

★OMC公開映写会が10月17日朝日生命ホールで催されたが、OMCの質の高い新作発表会に期待を寄せる8ミリ愛好者も多く、さすがに粒揃い、すばしかったと大好評。動員にご協力いただいた会員諸氏にお礼を申しあげます。

★9月例会レポート

長らく病氣静養中の香島氏がひょっこりと会場に姿を見せられ、皆をほっとさせたが血色も良く安心した。入院中の小倉副会長も一時自宅待期中とのことで、いずれ手術を受けるとのことだが、お元気そうな姿を見ていると何かの間違いでと思う程…。

上映作品

「夏」江村一郎氏。Si Mg 7分。夏に拾ったアラカルトといった内容で、海水浴、魚つかみ、自然など盛りだくさんの内容。少し整理されたらもっと良くなる。

「おんな港室津」河口礼志氏。Su T 9分。スタジオ8撮影会作品、同テーマでは6月例会で前田、今井の両氏が発表されているが、しっとりとした情感あり、結構でした。

「誕生」上総修一郎氏。Su MG 8分30秒。ROYAL HOST (レストラン) を事業

として開店させたときの記録。上総氏の“ウラ稼業”？がはからずも明らかになりしばし話題が尽きなかった。氏がレストランのオーナーとはまさに初耳…。

「飛鳥」有村博氏。Si T 10分。S51年作、スタジオ8撮影会作品。ナレーションの声が若々しい？赤いフィルターは他と少しでも「差」をつけたいとのねらいか…。

「歲月」合原一夫氏。Si T 20分。今年の公開映写会用に20年近くの撮り溜めフィルムを用いて、ひとつの人生記録に仕上げられたもの。若い当時の記録は今となっては貴重なカットとも言える。

★シネスコ登場

増田氏が久し振りにシネスコスクリーンを引っつけて、シネスコの上映を実現させられた。成るほど雄大な山の景色がスクリーン一杯に拡って迫力充分。公開映写会でも話題をさらうに違いない。

上映「山は招く」増田栄一氏。Su T 20分 S46年撮影。若かりし？頃の作者の姿が出てくる。「山に祈る」増田栄一氏。Su T 10分。'73年OMC公開映写会で発表された懐かしの作品。シネスコらしく画面一杯に雄大な山の風景がひろがる…。

★絵馬撮影会の第2回目は9名参加で行なわれ無事終了した。良い作品を期待したい。

☆10月例会は会費納入月、3千円です。どうぞよろしくお願ひします。

☆10月例会は25日(第4土曜日)6時20分 府教育会館4F視聴覚室。万障繰合せて定刻に多数ご来場を！作品も忘れずに。

★“永遠なれ”川畑会長、小倉副会長

「体力的に十分な作品活動に自信がない。良い作品を作れない会長なんて何の価値もないので…」「療養中の体で、会に迷惑を掛けることになる」と、2人を除いて会長、副会長を人選して欲しいと、川畑、小倉両氏から申出があり、このほど有志が集って話し合いの場をもって次のような結論を出した。

深く検討すればするほど、両氏の引退、即OMC崩壊の恐れが強いと結論に至り、留任を要請することにした。一方、ひるがえって現状を見ると我々会員は、会長、副会長にかなり負担をかけていたとの反省があり、ここはひとつ、皆で協力しあって両氏の負担を柔らげ、会を盛りたてて行こうと確認をした。ご苦勞をお掛けしますが川畑会長、小倉副会長には毎年改選することなく“未永く”現職にとどまって戴くよう、お願いします。

★会長補佐役誕生。初代に堀池、合原の両氏
会長、副会長の負担を軽減し、会の運営をスムーズに行うことを目的として会長補佐役（仮称）の制度が提案され同意を得た。会長補佐に堀池、合原氏。一番ご苦勞をかける撮影会等の企画全般の担当は前田氏を主担当に、河口、山形、岡本氏がサブとして協力をする。OMCニュース原稿担当は合原、有村の両氏、会計ほかの担当は従来通りお願いしようということになった。

★公開映写会の在り方は時間をかけて見直し
資金面の苦しさ及び広告とりの難しさから公開映写会の在り方が論議されたが、来年3月までに最良策を決定することになった。

☆10月例会レポート

10月例会は25日、この日はプロ野球日本選手権大会で、王手のかかった広島対西武で、西武がようやく一矢をむくいた日であった。これが大阪の阪神あたりだったら今夜あたりはえらい騒ぎだったに違いないと思いつつ、例会場へ急いだ。このところ例会の集まりが今ひとつパツとせず、今月は14名にとどまった。何とかして20名の大会？に復活したいものである。作品も公開映写会の反動もあってか、リバイバルを含めて4本と少なかったがゆっくりと話のはずんだ楽しい例会であった。「社内旅行」合原一夫氏。Si M 17分 鳥取地方を会社の慰安旅行で行かれたときの記録。社内旅行映画のまとめ方の参考になったとの声あり。「淡雪想浄」野村公威氏。Si M 4分 近くのお寺さんで撮ったという雪のある寺の表情をしっかりと撮られている。「さいはての旅」増田栄一氏。Su T 13分 10年前に公開映写会で発表された作品だが、北海道の冬の寒さが伝わってくる。初めて見る人も多かったが、なかなか良い作品であった「もうひとつの旅」川畑健二氏。Su T 19分 和歌山撮影会で撮ったフィルムに川畑流に味付けしてつくられた作品。もうあれから7～8年も経ったのかと、あらためて思い出される。あの撮影会は楽しかったと魚料理に皆満足し、夜遅くまでカラオケで楽しんでいた会員たちの表情がまぶたに浮かぶ…。

※11月例会は22日（第4土曜日）6時20分
府教育会館4F視聴覚室。万障お繰合せの主
多数ご来場をお待ちします。旧作新作歓迎。

OMC News

561.12

発行 大阪ムービーサークル企画室 川畑健二

大阪市南区谷町6-8-13 〒542

☎ (06)761-0034・352-0486

'86.12 No. 255

★'86年度のグランプリは合原氏に！

OMCフェスティバル発表作品を最後に、本年度の会員作品の中からグランプリは合原一夫氏の「歲月」。会長賞は上総修一郎氏の「食人種の後裔・ダニ族」。OMC賞には吉村久雄氏の「平野の祭り」、河口礼志氏の「北国幻想」が決定、11月例会で発表トロフィーが贈られた。87年度はさて誰の手に？

★会長、副会長から皆さんに。

「空中分解の動機になる。OMCを存続するために…」という声と、幹部の皆さんからは、実務は私達が分担、バックアップするからと積極的に厚意ある提案が種々ありました。負担が多いからと交替を望んだのではなく、2人とも病気を抱えて会の運営に自信が持てず、会に迷惑をかけそうをお願いしたのですが…。名前だけの会長、副会長になる可能性が大ですが、できるだけお役に立ちたいと思います。会員の皆さんも意を汲んでいただき、結束してOMCを盛りあげてください。(川畑、小倉)

なお、小倉副会長の病状は、経過もよく手術を見合わせて療養を続けるということになりました。ご安心ください。

★野村公威氏は第2回京都映像コンに見事グランプリを獲得された。おめでとう。

★12月例会では会則(?)により、久し振りにコーヒとケーキがでるよ！

★未完成フィルム大歓迎！

例会運営の改正案のひとつですが、従来OMCの例会は雰囲気として作品重点で、荒編集しただけのフィルムや、タイトル、音のないフィルムは、出品を渋る風潮があった。し

かし映写作品が少なくなった時でもあり、今後はどんなフィルムでも結構、遠慮なく提出してほしい。適当なB. G. Mも用意して大歓迎！

☆11月例会レポート

「スキー」三木義晴氏、Su T 14分。女子高校生全校 600人がバス12台に分乗、志賀高原へ。そこでのスキー教室での記録。作者自身も滑りたくてカメラとどっちつかずとなり、アップが少なく、メリハリの弱い作品となった。

「秋まつり」江村一郎氏、Si M 6分、フジRT200 を使って祭りの夜景ばかりでまとめた作品。解像力抜群でコダックに負けない技術力なのにメーカーに後続の情熱がないのが何とも惜しまれる。作品は、いつもの氏独特の映像で祭りの夜店の雰囲気良くでた短編であった。

「三原山への飛行」田中正文氏、Su 10分。オーナーパイロットの氏が静岡から伊豆にかけての飛行記録。昨夜の三原山大噴火のタイミングに合せての公開で、大島空港から三原山への登山に続いて珍しい飛行機からの噴火口のぞきなど貴重な記録であった。

「木曾路の旅人」有村博氏、Su 12分、昭和47年秋、他クラブ撮影会での作品。今はなきOMC会員森本史郎氏のマゲ姿に古い会員達は感慨ひとしおであった。

※12月例会は20日(第3土曜日)6時20分。府教育会館4F視聴覚室。年末で何時もより1週間早くなっています。お間違いのないように。時間厳守と全員の出席にご協力を！